

自立活動 教材教具

| | |
|----------------|---|
| 名称 | 袖抜きトレーニングセット |
| 区分・項目 | 5 身体の動き (3)日常生活に必要な基本動作に関すること |
| 課題内容 | <div data-bbox="406 443 715 658">  </div> <div data-bbox="730 427 1449 613"> <p>レベル1 (手首タイプ) 指先で確実に袖口をつかみ、短いアームカバーを手首から抜く動作を繰り返し練習する。</p> </div> <div data-bbox="406 703 715 936">  </div> <div data-bbox="730 658 1449 949"> <p>レベル2 (肘までタイプ) 肘までの長さのアームカバーでの練習。いくら袖を引っ張っても、肘が曲がったままだと抜けないため、肘を伸ばして抜く動作ができるようになる。</p> </div> <div data-bbox="406 972 715 1227">  </div> <div data-bbox="730 994 1449 1240"> <p>レベル3 (肩までタイプ) 肩までの長さのアームカバーでの練習。肘を伸ばすだけでなく、腕全体もちあげながら反対の手で袖を引っ張って脱ぐ。</p> </div> <div data-bbox="406 1294 715 1527">  </div> <div data-bbox="730 1294 1449 1541"> <p>レベル4 (衣服タイプ) 少し大きめの上着を着て袖を抜く練習。肘や腕だけでなく、上半身をひねりながら袖を引っ張る力が必要となってくる。</p> </div> |
| 材料、購入先 予算価格 | アームカバー (100円ショップ)、300円くらい |
| 備考 | <p>指先で袖をつかむ力の弱い児童がスモールステップで取り組めるよう、長さの異なる4種類のアームカバーを用意した。</p> <p>短い物は肘を曲げたままでも抜くことができるが、長い物は肘を伸ばして引き抜く必要がある。一番長い物は肩までの長さがあるため、袖を持って引っ張り続ける力が養われ、衣服の着脱動作にもつながると考えた。</p> |